

# 稲線虫心枯病々原線虫の收穫時に於ける寄生部位に就いて

深野 弘・横山佐太正

福岡縣立農事試験場

- 1, 籾では籾殻の内面並に玄米の表面に附着寄生してゐるが、罹病莖の籾 200 粒につき調査したところでは 1 粒當り 3.2 匹、而してその 90.5% は籾殻に、9.5% は玄米に發見された。籾の大小、充實程度による線虫數の差異を調査したところでは 1 粒當り虫數は大粒に多く、小粒之に次ぎ糝は最も少かつた。
- 2, 收穫時の藁を浸漬した水を鏡檢したところ相當數の線虫が發見された。
- 3, 刈株に線虫が残るかどうかを知る爲に九月上旬刈取り後に生じた「ヒコバエ」につき調査したところやはり病徴が現はれ線虫が發見された。よつて當時の株にも線虫は存在すること明らかであるし、普通に刈取つた株にも残ると推定する。

第 1 表 線虫心枯病々籾中の線虫數並其籾殻と玄米との間に於ける差異

區別	調査籾數	線虫數	一粒當り線虫數	線虫數内譯		同率 %	
				籾殻	玄米	籾殻	玄米
1	100	361	3.6	327	34	90.6	9.4
2	100	284	2.8	259	25	90.4	9.9
平均	100	322.5	3.2	293	29.5	90.5	9.5

第 2 表 籾の大小並充實の有無による線虫數の差異

區別	調査籾數	同重量 (瓦)	線虫數	
			成・幼虫	卵
大粒	100	2.8	129	0
小粒	100	2.0	114	0
糝	100	0.3	39	0

第 3 表 收穫後の藁に於ける線虫寄生數

區別	調査藁數	切口より 10~20cm		20cm 以上	計
		~10cm	20cm		
1	10	6	0	0	6
2	10	0	0	4	4
平均	10	3	0	2	5

第 4 表 稻の刈株より生じた「ヒコバエ」に於ける發病調査

調査株數	葉の病斑による				線虫の有無による			
	病株數	無病株數	病莖數	無病莖數	病株數	無病株數	病莖數	無病莖數
20	1	19	1	70	7	13	10	61

- 備考 1. 線虫數の調査は、材料を水に浸漬し 20°C に 1 日間保つて行つた。  
2. ヒコバエは 9 月上旬刈取つた後生じたもので、9 月下旬調査した。